



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース NKFK News

2019  
**9.30**  
No.63

## CONTENTS

第4回  
全国介護福祉総合  
フェスティバル in さいたま  
開催! ..... 2

第4回「介護福祉のみらい」  
作文コンクール 受賞作品 ..... 5

●協会推薦図書  
介護経営白書  
2019年度版 ..... 6

●今月の「介護ビジョン」  
●第4回全国介護福祉総合  
フェスティバル in さいたま  
終了のお知らせと御礼 ..... 7

イベント掲示板 ..... 8



第4回

## 全国介護福祉総合 フェスティバル in さいたま 開催!



一般社団法人  
日本介護福祉経営人材  
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>  
制作:株式会社日本医療企画  
編集・発行人:林 諄  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地  
ニッテン神田ビル3階

## 第4回

# 全国介護福祉総合フェスティ

## 介護福祉の「過去」、「現在」、「未来」に触れることができたイベント

9月6日(金)、7日(土)、埼玉会館(さいたま市浦和区)において、第4回全国介護福祉総合フェスティバルinさいたまが開催された。

「渋沢栄一に学ぶ介護福祉経営の未来～今、急がれる経営基盤の確立と人材育成～」をテーマに掲げた今回のフェスティバルは、「社会事業家」としても知られる渋沢栄一の姿勢や手法を学ぶとともに、介護に関連するさまざまなサービス・商品の紹介ブースや、VR認知症体験や最新ICTシステムの活用事例の紹介などを通じ、新旧さまざまな介護福祉のトレンドに触れることができるイベントとなった。

## 渋沢栄一の取り組みから介護福祉現場の“今”を見つめ直すイベント初日

イベント初日は本フェスティバルの実行委員長であり、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会の多田宏代表理事のあいさつで幕を開けた。



力強くメッセージを語る鮫島氏

初日の目玉は渋沢栄一の孫であり、エッセイストとして活躍する鮫島純子氏の基調講演。

「渋沢栄一の生き方に学ぶ～社会福祉の元祖が残したものととは」と題して行われた講演では、渋沢の貴重なプライベート

の側面が語られたほか、渋沢が最期まで語っていたという言葉「人のお役に立つ生き方が本望」を引用し、誰かの役に立つ生き方のできる社会の重要性を説いた。

続いて行われたパネルディスカッション「渋沢栄一から何を学ぶか～経営基盤の確立と人材育成のために」では、川渕孝一本会理事を座長に、養育院附属病院から発展した地方

独立行政法人東京都健康長寿医療センター顧問医の稲松孝思氏、長年渋沢の研究をしてきた元立正大学社会福祉学部教授で社会福祉法人麦の家理事の山名敦子氏が登壇。渋沢の業績や人物像に関する議論のほか、現代日本の抱える課題に向けて「第二の渋沢栄一」の登場に期待が寄せられた。

また、スペシャル対談「これからの介護福祉に残すべきもの、変えていくべきもの」では、長年にわたり介護福祉に情熱を注いできた2人の巨匠、黒澤貞夫氏(一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事)と時田純氏(本会副代表理事)が登壇。神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士1級)を聞き手に、介護福祉とは「自分らしく幸せに生きるという人類共通の願いを実現する仕事」であり「生涯をかけて取り組む意義のある仕事」である、という職業観が繰り広げられた。また、介護従事者が喜びを感じられる環境づくりや、介護の魅力を広くPRできる場の確保など、今後の展望も語られた。

初日の最後には認知症になった祖母と孫のふれあいを描いた映画『ばあばは、だいじょうぶ』の上映会とトークショーが行われた。同映画の監督を務めたジャッキー・ウー氏、映画の原作となった同名絵本の主人公「ばあば」の主治医である千船病院認知症サポート医の瀧本裕氏、湖山医療福祉グループ代表の湖山泰成氏が登壇。監督からは「認知症についてさまざまな



トークショーの様子

# バル in さいたま

# 開催!

角度で見るときつかけになってほしい」、湖山氏からは「映画の登場人物の苦しみを疑似体験し家族の介護や、自分の老いについて考えてほしい」との言葉もあるなかで、参加者からも「おもしろい涙がでてしまった」という声が上がりました。登壇者と参加者が一体感を感じられるイベントとなった。

## 介護福祉についてさまざまな観点からの議論が行われたフェスティバル2日目



2日目は多数の座談会やセミナー・講演が行われ、初日より介護福祉の現状にさらに深く切り込んだ議論が行われた。

座談会「なぜ介護現場は人材が定着しないのか?」ではパネリストとして、リハプライム株式会社の小池修代表取締役、株式会社らいふの小林司取締役、社会福祉法人ひだまりの山下総司理事が登壇。ファシリテーターには、株式会社Join for Kaigoの秋本可愛代表取締役を迎えて行われた。小池氏は、職員が定着しないのは「職員の関係性がよくないことが理由」と話し、自社で行っている「ほめる、教育」について説明。これをきっかけに、職員定着における「教育」の重要性が挙げられた。小林氏は独自の研修「司塾」で自らが講師として教育に携わっている事例を、山下氏は特に管理者に必要なスキルとして「マネジメントの7つの力」について説明した。

また、埼玉県多職種連携事業「彩の国連携力育成プロジェクト(SAIPe)」とのコラボ企画も開催された。同プロジェクトに参加した埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学の卒業生4人と、埼玉県立大学理学療法学科教授の田口孝行氏、日本工業大学生活環境デザイン学科准教授の勝木祐仁氏が登壇。「地域住民を支える連携力のある人材育成」をテーマにトークが繰り広げられた。

同じく人材をテーマに取り上げたパネルディスカッション「外国人人材の現状と課題」では、社会医療法人愛仁会本部統括部長で本会関西支部長の坪茂典氏をファシリテーター

に、はっぴねす事業協同組合の小出昌弘事務局長、協同組合福の馬場隆雄理事がパネリストとして登壇。議論では、有能な外国人人材も多いが、現場の人手不足の状況から、即戦力として外国人人材が強く求められる面があることに注目。日本語の研修レベルの向上、長期的に安定した雇用機会の確保、導入に当たっての経済的コストの大きさなどをいかに克服するかといった、課題の大きさも浮き彫りになった。

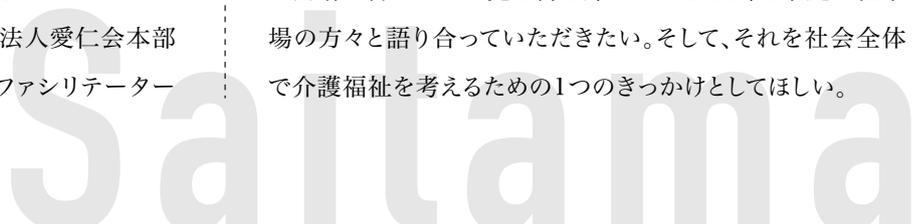
そして、2日間にわたるフェスティバルの最後を締めくくったのは、「介護福祉経営士が描く未来の介護 介護現場の『働く』『学ぶ』のマネジメント」と題した座談会。株式会社ウエルビーの青木正人代表取締役がファシリテーターを務め、井口健一郎氏(社会福祉法人小田原福祉会法人事務局人財開発部部長・人財育成センター長、介護福祉経営士2級)と、小平達夫氏(富山短期大学福祉学科准教授、介護福祉経営士1級)の2人をパネリストに、現在の介護現場が抱える人材育成や人材採用の課題について、意見交換がなされた。

議論ではこれからの介護事業所には人材育成手法の模索やマネジメント的発想の導入などが求められる点が強く指摘された。

また、メイン会場の他に設けられたサブステージでも、多彩な催しが行われた。

「VR認知症体験コーナー」では、VR(バーチャル・リアリティ)の技術を活用して、認知機能が低下したときの「混乱した環境」や、レビー小体型認知症の「幻視」を参加者が体験。要介護高齢者の外出や旅行をサポートする「ゆめ旅KAIGO! 2020」の活動を紹介するセッションなども行われた。

2日間にわたって行われた「第4回全国介護福祉総合フェスティバルinさいたま」。活発な議論が行われ、新たな問題提起が行われる場面もあった。かなうならば、参加者の皆様には会場で得られた知見を持ち帰っていただき、ご家庭や職場の方々と語り合っていたいただきたい。そして、それを社会全体で介護福祉を考えるための1つのきっかけとしてほしい。



# さいたま・介護文化宣言

世界一の長寿社会である日本では、「人生100年時代」を見すえた、新しい社会の仕組みづくりが課題となっています。

平均寿命を伸ばすだけでなく、高齢者から若者まで、すべての人が元気に暮らすことができる社会、仕事や学びを通して活躍の場がある社会を創ることが求められています。

そのためには、これまで先人たちが積み重ねてきた歴史と伝統を大切に受け継ぎつつ、これからの時代に求められる介護福祉のあり方を常に探求し、改革に挑戦していかななくてはなりません。

私たち介護福祉経営士は、介護福祉に携わる者としての使命を見つめ直すと同時に、令和時代の介護福祉を創造、発展させていくため、経営基盤の確立と人材育成にリーダーシップを発揮していくことをここに宣言します。

令和元年9月7日

「介護福祉経営士」代表

**宮崎 香理**

(医療法人嬉生会 理事 介護福祉経営士2級)

**川元 功**

(香川県立中央病院 事務局 総務企画課 専門副主幹 介護福祉経営士1級)



第4回

# 「介護福祉のみらい」 作文コンクール 受賞作品



## じいちゃん、ありがとう。

こづか みく  
小塚 美空さん

栃木県立真岡北陵高等学校 2年



## 障害者に対する考えについて

おおはし ふたば  
大橋 双葉さん

栃木県立真岡北陵高等学校 3年

## 経験からの学び

たきもと かのん  
滝本 果音さん

福井県立奥越明成高等学校 3年

## 福祉を学んで感じたこと

なかせ あい  
中瀬 愛さん

兵庫県立日高高等学校 3年



## 笑顔の循環

いけだ あんな  
池田 杏奈さん

兵庫県立日高高等学校 3年

## 言葉から見たもの

ほらだ あやか  
原田 彩花さん

山形県立山辺高等学校 2年

## 体験を通して思ったこと

ほし れな  
星 伶奈さん

栃木県立真岡北陵高等学校 3年



### 黒澤貞夫審査委員長のコメント

400を超える募集をいただき、感謝申し上げます。これだけ多くの生徒の皆さんが介護福祉について考え、投稿してくれてきたということに感動しています。

全体を通して起承転結がはっきりしていて、作文としてよくできており、人に感動を与えるような非常によい内容でした。読み手である私たちが逆に教えられるような作品ばかりでした。

日常の学びや経験を通じて、学生の皆さんが自らを成長させていく過程を、作文を通してよく知ることができました。

「経験なくて学問なし」とも言いますが、日常のよい経験がよい文章をつくる源泉となっているのでしょう。

若者の持つ可能性を感じることができ、これからの介護福祉の未来に希望を感じることができました。

投稿されたすべての皆さんに、心からの感謝と激励を贈りたいと思います。



# 介護経営白書 2019年度版

## 今、急がれる経営基盤の確立と人材育成 ——制度依存から自立する介護経営

わが国の人口構造の変化や団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据え、高齢者介護を社会で支えるしくみを構築することが国策により進められてきました。医療制度と異なり、民間企業の参入を受け入れたことにより介護サービスの量は飛躍的に増え、ホームヘルパーという職種が国民にも身近なものとなり、大きく広がっていきました。誰もが低価格で利用できるサービスは、介護を必要とする多くの高齢者の在宅生活を支えていきました。しかし、その反面、さまざまな弊害も生じました。制度開始から6年目には、コムスン事件が起こり不正な申請による業務取り消しなどが問題となり、2008年には、リーマンショックの世界的金融危機の影響により介護人材の層も大きく様変わりをしていきました。量から質の時代へシフトすることが求められ、制度改正も度々行われていくこととなりました。

そうしたなかで、人材不足や定着率の低さがますます深刻化しています。人の役に立つ仕事がしたいと志をもって職に就いた若者がわずかな期間で退職していく現場では何が起きているのでしょうか。急速に拡大してきた業界には、多くの非常識が

蔓延しているのかもしれませんが。マネジメントの視点なき経営は、働く人にもサービスを受ける人にも多くの不利益をもたらします。介護業界において、今、急ぎ求められることは、介護経営の基盤の確立と人材育成です。本書において、そのための方策を模索し、介護経営の未来を展望していきます。

- 編集委員代表：  
多田宏（一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事）
- 編集委員：  
青木正人（株式会社ウエルビー代表取締役）  
川淵孝一（東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授）
- 企画・制作：ヘルスケア総合政策研究所
- 発行：日本医療企画
- 書籍体裁等：B5判 268ページ
- 定価：4,500円＋税
- ISBN：978-4-86439-847-3



好評  
発売中!!

### 目次

#### 第1部 経営基盤の確立と人材育成

- 第1章 【特別座談会】今、急がれる経営基盤の確立と人材育成
- 第2章 他業種との比較から見える採用の課題と展望
- 第3章 介護福祉サービスの質向上のための方策
- 第4章 介護事業者の財務の現状と課題
- 第5章 介護業界におけるICT活用の重要性
- 第6章 トップランナーに聞く
- 第7章 介護経営を担う人材の育成

#### 第2部 人生100年時代の介護の未来を語る

- 第1章 人生100年時代における介護の未来
- 第2章 【特別対談】人生100年時代の地域と人づくり

#### 第3部 介護経営トレンド情報

- 第1章 「ケアを必要とするヒトに、ヒトによるケアを」を進めるテクノロジー
- 第2章 仕事を細分化し、介護シェアリングを実現
- 第3章 “元気な高齢者”を介護人材不足の切り札に
- 第4章 外国人採用における日本企業の現状
- 第5章 多職種連携による食支援で高齢者が生き生き
- 第6章 介護職におけるACP (Advance Care Planning) 推進の展望
- 第7章 KAIGO × Creative が織りなすくつろぎの場 “as a café”
- 第8章 在宅ケアの最前線
- 第9章 広がる介護の役割

#### 巻末付録：

- 1. データに見る平成の社会と介護
- 2. 介護平成史

地域のニーズをすくい上げ  
地域から超高齢社会を支えていくための  
視点を具体的事例とともに掲載

介護が変わる 地域が変わる **介護ビジョン**

# 地域介護経営

今月の

第1特集

離職率の高さを乗り越えろ！  
人が足りない時代の仕事の回し方

第2特集

“今”が“いざ”に役立つ  
介護事業所に求められる防災対策

Special Report

第4回全国介護福祉  
総合フェスティバル in さいたま

トップに聞く

一般社団法人日の出医療福祉グループ 代表理事  
大西 壮司 氏

兵庫県加古郡稲美町で、明治時代から続く調味料メーカーを受け継いで大きく成長させ、その利益を地域に還元したいという思いから介護事業に参入した大西壮司氏。今や介護・福祉・医療・保育事業で売上高120億円に達する医療福祉グループを率いる。メーカー経営の時代から地域、人材を大切にしている同氏に、介護事業参入への思いや、経営と地域貢献のあり方について聞いた。インタビューは埴公一朗氏。



大西 壮司氏



【インタビュアー】  
埴 公一朗氏  
グループホームの管理者、  
介護支援専門員。

2019年10月号

(2019年  
9月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価：1,296円(税込)
- 定期購読料：15,552円(税込)
- ※ 会員価格は12,444円(税込)

## 第4回全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま

### 終了のお知らせと御礼

このたび第4回全国介護福祉総合フェスティバルinさいたまの開催にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして盛会のうちに無事に終えることができました。

ご来場いただいた皆様、趣旨にご賛同いただいた協賛企業・後援団体の皆様に心より感謝申し上げます。

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会  
第4回全国介護福祉総合フェスティバル in さいたま 実行委員会

# 介護福祉経営士が知っておきたい！ イベント掲示板

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

## 北海道支部

### 対策講座付き「介護福祉経営士」本試験

「介護福祉経営士2級」資格認定試験の対策講座と試験を同日実施。午前中の対策講座では、介護福祉における法制度はもちろん、介護福祉サービスのしくみや介護福祉産業の動向についての理解が深まる。午後試験を行い、試験終了後その場で合格を判定する。

- 日時：2019年10月19日(土)
- 会場：キャリアバンク職業訓練協会 B教室  
(北海道札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 5F)
- 受講料：12,000円(対策講座の受講料3,500円含む)
- 定員：限定20名 ※定員になり次第、締め切り
- 主催：対策講座／株式会社日本医療企画、試験／日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 北海道支社  
TEL:011-223-5125

## 北海道支部

### 社会保障ゼミ

政府が進める安心につながる社会保障とはどのようなものなのだろうか。事業を行う上では、社会保障の動向を確認し対策を講じなくてはならない。政府の進める給付負担増や給付の削減による痛みの伴う議論がスタートしつつある中、国の方向性を確認し、業界について学べる勉強会。

- 日時：2019年11月22日(金)、12月20日(金)、2020年1月17日(金)  
各回18:30~20:00
- 講師：神内秀之介氏(N&B care and welfare management laboratory代表、介護福祉経営士1級、スマート介護士(basic))
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム  
(北海道札幌市中央区南1条西6丁目15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員：2,000円、一般：3,000円 ※税込
- 定員：20名 ※参加者が10名に満たない場合は開催を中止することもあります。
- 共催：株式会社日本医療企画

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 北海道支社  
TEL:011-223-5125

## 九州支部

### 看護師のためのチームで取り組む排泄ケア

排泄ケアにチームで取り組むことの意義や具体的な方法、排尿・排便障害のアセスメントとケア方法、そして自立支援に向けた具体的な手法、認知症患者の排泄ケアについて、全4回にて開催。

- 日時：2019年7月15日(月-祝)、8月24日(土)、9月1日(日)、11月10日(日)  
各回13:30~17:00
- 講師：種子田美穂子氏(大牟田市役所保健福祉部健康長寿支援課コンチネンスアドバイザー、NPO法人日本コンチネンス協会九州支部副支部長)
- 会場：第三博多借成ビル4階 大会議室(福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6)
- 受講料：協会会員4,000円、一般5,000円 ※税込
- 定員：50名



お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 九州支部  
(株式会社日本医療企画 九州支社 内)  
TEL:092-418-2828

## 日本医療経営実践協会

### 第8回「全国医療経営士実践研究大会」 仙台大会

「地域を動かす医療経営士の現場力——新たな『企画』『提案』『実践』が医療を変える!」をテーマに、仙台市にて開催する。また、第1回(2018年度)「医療経営に関する研究助成」も同時開催。

- 日時：2019年11月9日(土) 13:00~18:15、10日(日) 8:30~16:30
- 会場：ホテルメルパルク仙台(宮城県仙台市宮城野区榴岡5-6-51)
- 参加登録：事前に大会特設ページより登録が必要  
「第8回全国医療経営士実践研究大会 仙台大会」で検索
- 参加費：事前登録期間9月30日までに参加登録すると、割引料金にてご参加いただけます。  
<9月30日までに参加登録した場合>  
両日参加：会員9,000円、一般15,000円 / 1日参加：会員5,000円、一般9,000円  
<10月1日以降に参加登録した場合>  
両日参加：会員14,000円、一般20,000円 / 1日参加：会員8,000円、一般12,000円  
※介護福祉経営士は会員価格を適用する

お問い合わせ

大会運営事務局  
一般社団法人日本医療経営実践協会  
TEL:03-5296-1933

## 日本医療企画

### 病院から在宅へ地域包括ケア時代の 医療・介護経営戦略セミナー 高齢者住宅セミナー2019

「2020年診療報酬改定の方向性から医療・介護の連携・体質強化を考える」と題し、地域包括ケアシステムや入退院支援、ACP、人材確保、居宅系介護施設、施設看取り、特定処遇改善加算などを幅広く解説する。対象は病院、診療所、介護事業所(開設予定者・土地活用を含む)。同日開催で事業効率化を目的とした各種サービスの紹介も行う。

- 日時：2019年10月12日(土) 13:30~16:30
- 講師：網代 祐介氏(社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉連携室室長、法人管理企画部兼務、介護福祉経営士)
- 会場：小山グランドホテル(栃木県小山市神鳥谷202)
- 参加費：無料
- 定員：40名
- 共催：パナソニック(株)、パナソニックホームズ(株)、パナソニックカーエレクトロニクス(株)、(株)ナリコマエンタープライズ

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 高齢者住宅セミナー担当  
TEL:03-3256-2885

## 一般社団法人 全国ノーリフティング推進協会

### 第6回全国大会in埼玉

一般社団法人全国ノーリフティング推進協会が会員相互、医療・介護業界の交流の場として開催する全国大会。福祉用具や介護ロボットの活用をテーマとした基調講演が予定されているほか、「ノーリフティングの導入でケアの質を高める」をテーマとした演台発表が行われる。

- 日時：2019年11月19日(火) 13:00~18:00
- 会場：ソニックシティ小ホール(埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5)
- 参加費：社員(会員※)1,000円、賛助社員(賛助会員※)、後援団体会員3,000円、一般5,000円  
※会員、賛助会員とは一般社団法人全国ノーリフティング推進協会の会員をさします。日本介護福祉経営人材教育協会の会員には後援団体会員価格3,000円が適用されます。
- 定員：400名

お問い合わせ

一般社団法人全国ノーリフティング推進協会事務局  
TEL:052-856-0611